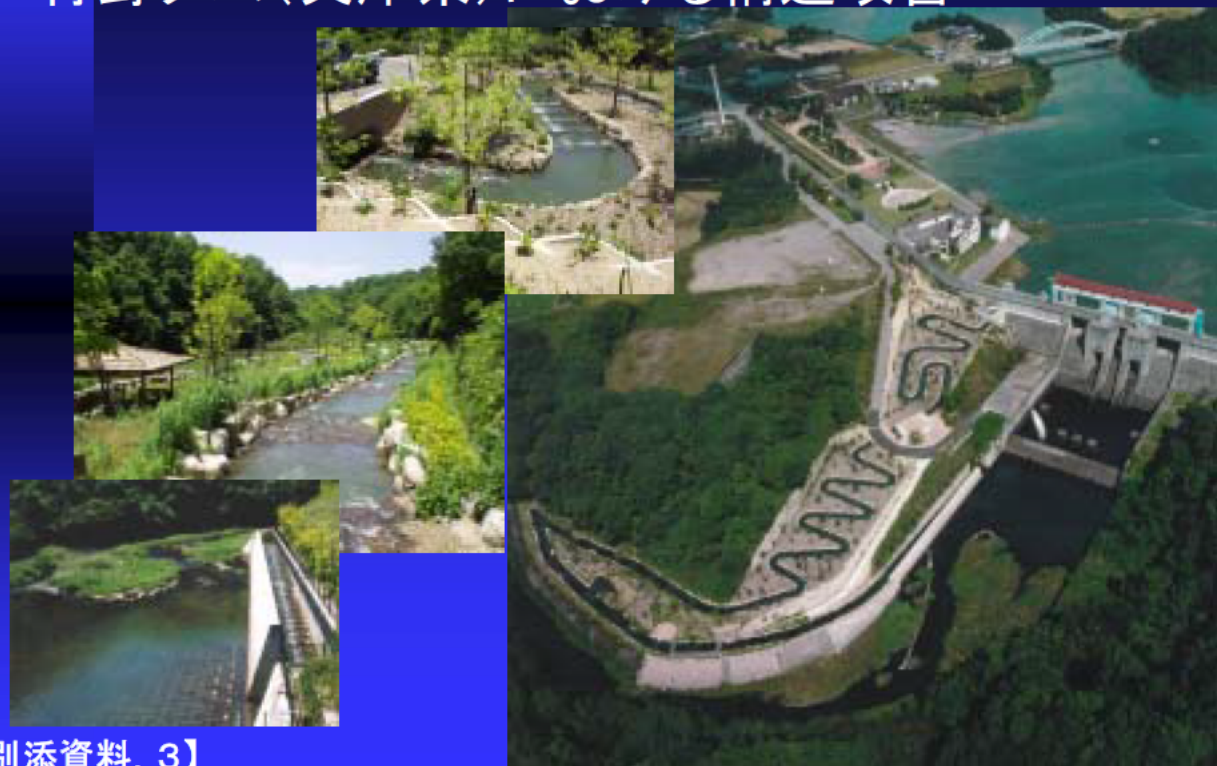


遡上・降下に配慮した構造改善

青野ダム(兵庫県)における構造改善



【別添資料. 3】

委員からの質問の回答(質問-20)

5. 2. 2 水位

生物の生息・生育環境を保全及び再生するための水位操作の検討

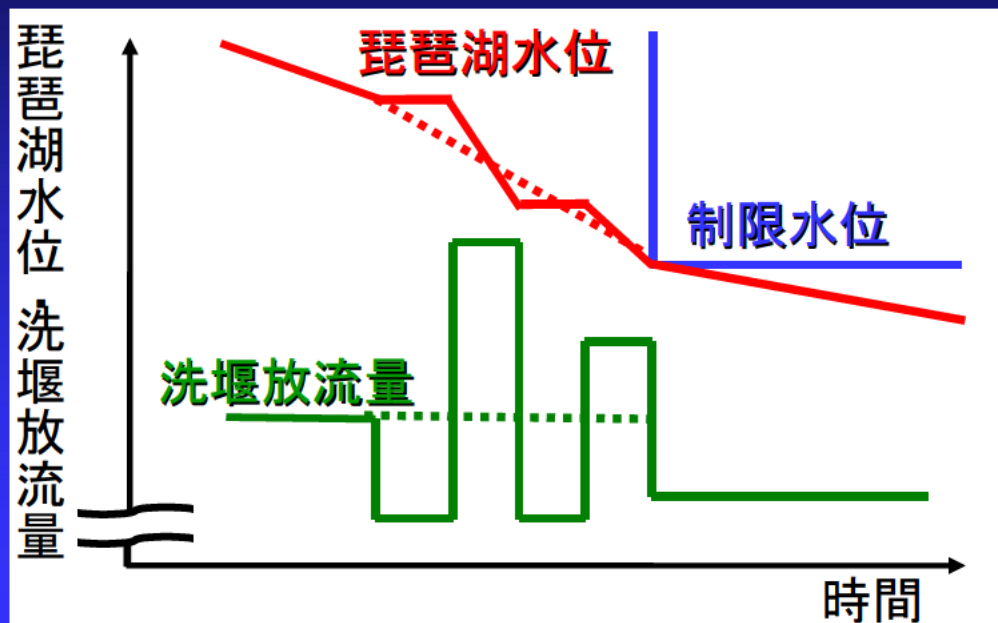
○瀬田川 瀬田川洗堰

瀬田川洗堰についても、試験運用の実施を考えております。

攪乱機能維持の試験運用の実施

移行期水位変動の試験運用

瀬田川洗堰放流量と琵琶湖水位のイメージ(1)



【別添資料. 4】

..... 現行操作

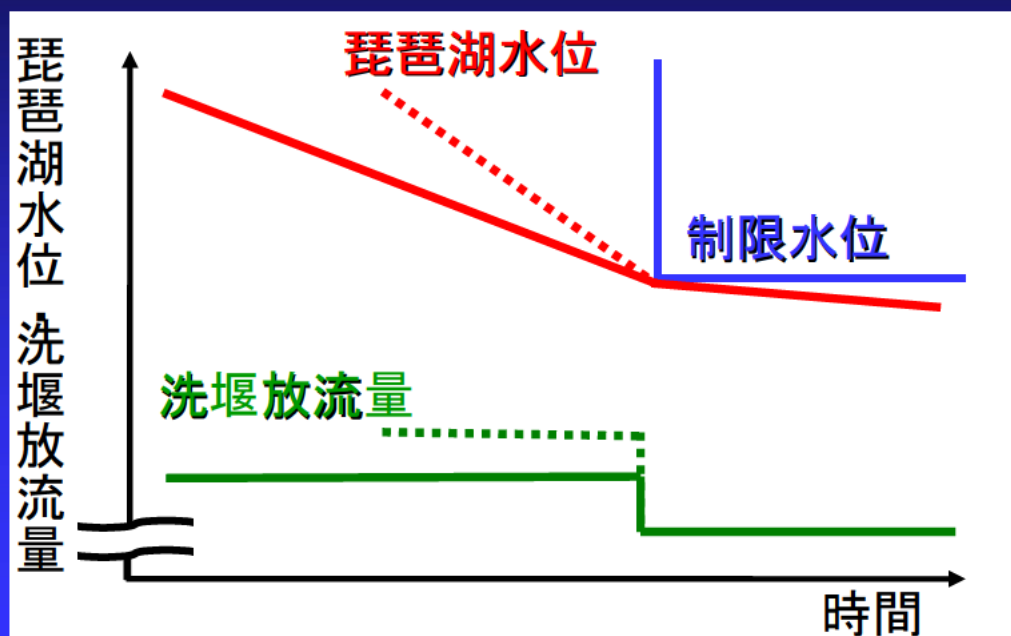
— 変更のイメージ

31

攪乱機能の試験運用の実施

移行期水位変動の試験運用

瀬田川洗堰放流量と琵琶湖水位のイメージ(2)



【別添資料. 4】

..... 現行操作

— 変更のイメージ

32

委員からの質問の回答(質問-21)

4. 2. 4 水質(河川整備の方針)

指定区間外の支川の水質整備

水質についてはダムも含めて流域全体での取り組みが必要であると考えております。

流域全体での流入負荷量削減対策を協議会を活用しながら検討します。

琵琶湖・淀川流域水質管理協議会(仮称)

琵琶湖・淀川流域水質管理協議会(仮称)が取り組むべき主な事項

(1)水質の流域内監視体制の整備

水質データの共有化 等

(2)河川流入総負荷量管理の実施方策

水質汚濁メカニズムの解明に向けた検討
面源負荷の抑制方策、プログラムの作成 等

(3)積極的な住民参加を促すための取組

環境学習の支援、情報発信 等

(4)水質事故の防止・対処の取組の強化

水質事故対策強化、不法投棄防止の啓発 等

委員からの質問の回答(質問-22)

4. 2. 4 水質(河川整備の方針)

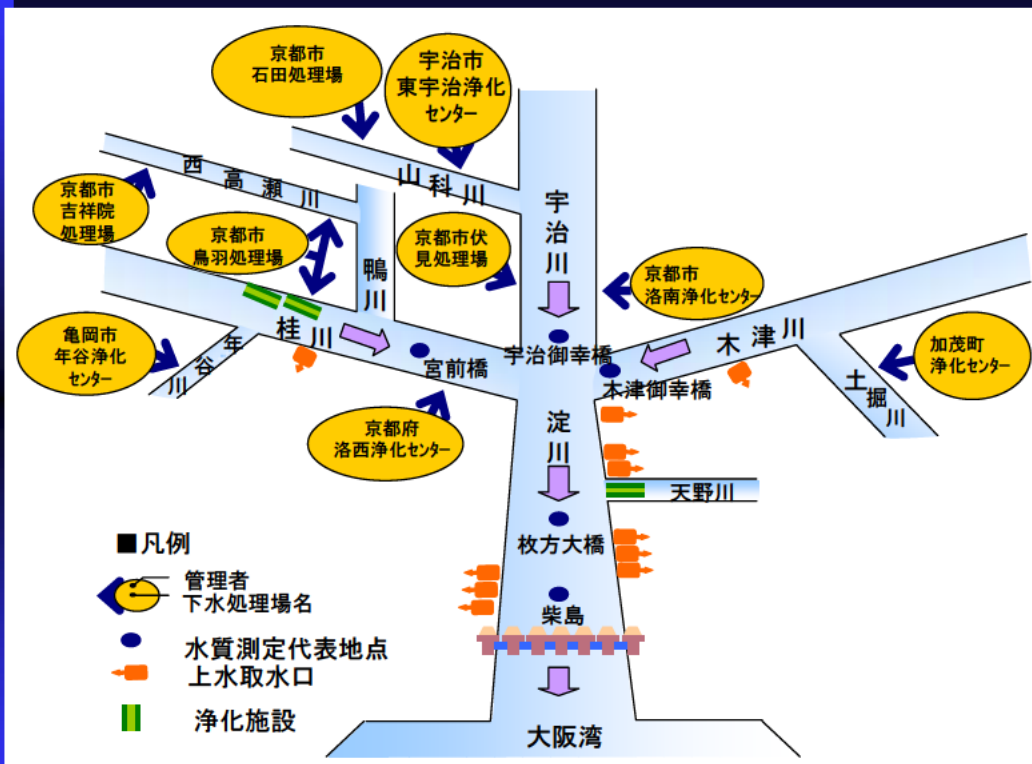
流水保全水路整備事業

高水敷に新たな水路を設置し、淀川の主要な汚濁源となっている中下流部における支川や下水処理排水を本川に合流させることなく分流・流下させることにより、主要な取水地点の位置関係を改善し、水質回復及び多様な生物・生息環境の保全を図る事業です。

【説明資料】

35

流水保全水路整備事業



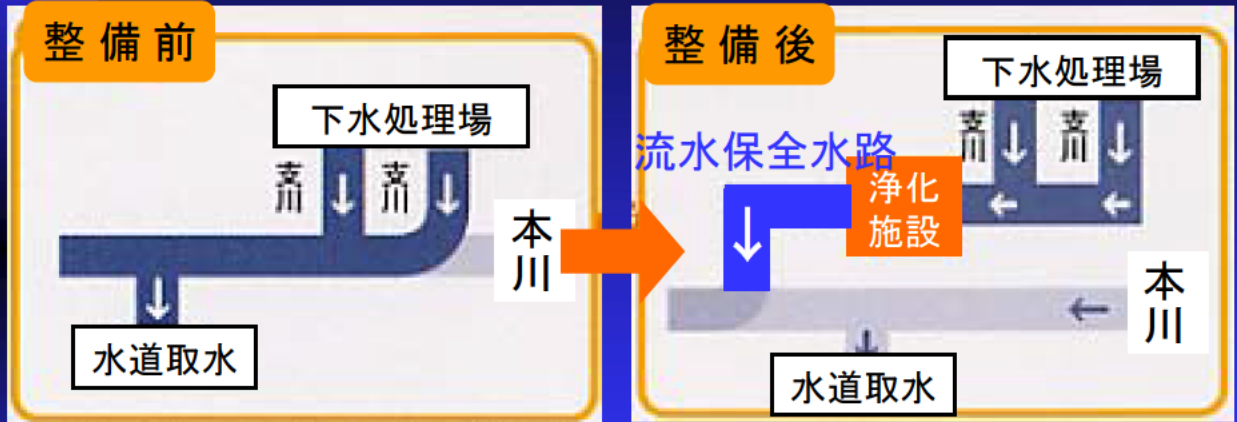
上流に排水地点、下流に多くの取水地点がある。

【別添資料. 5】

36

流水保全水路整備事業

事業の概念



下水処理場で処理した排水を直接河川へ放流

下水処理場で処理した排水を浄化施設に取り込んだ後に分流し、上水取水地点の下流へ放流

【説明資料】

37

流水保全水路整備事業



主要な排水地点と、主要な取水地点の位置関係の改善等により、水質回復及び多様な生物・生息環境の保全を図る。

【別添資料. 5】

38

委員からの質問の回答(質問-23)

5. 2. 4 水質(具体の整備内容)

流水保全水路整備事業

現在、実施している区間は、事業進捗の間に流域下水道整備等の進捗に伴い、BOD等の有機汚濁が大幅に改善されたことにより、現在は、環境基準を満足しています。

このため、現在概成している京都府内において、新たな水質問題への対応等を踏まえた調査を実施します。

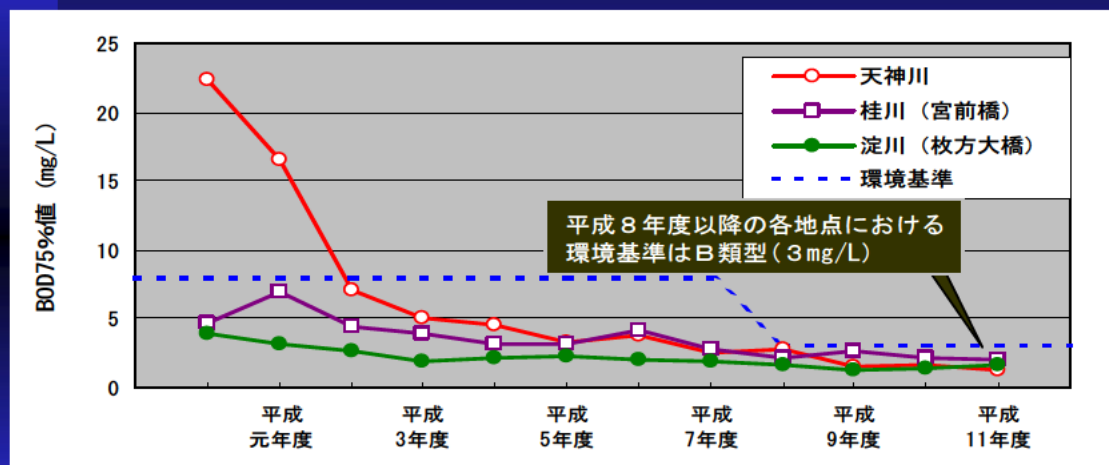
調査結果については、委員会へ報告し、意見を聞きます。

【説明資料】

39

流水保全水路整備事業

桂川水質経年変化



下水道事業等の進捗により、BODは大幅に改善しています。

【別添資料.

40

流水保全水路整備事業

H15 調査・モニタリング

～17

京都府域内の概成した施設(水路、浄化施設など)を活用して、水質浄化の効果を調査検討する。

浸透浄化実験調査

・水路の水を高水敷の土壤に浸透させた場合の水の浄化効果と土壤への影響を調査

(BOD、SS、色度、窒素、リン、大腸菌群数等)

水質調査

(BOD、SS、NH₄-N、T-N、T-P、病原性微生物、微量有害物質、内分泌攪乱化学物質等)

H18 調査結果検証

【別添資料.
6】

41

委員からの質問の回答(質問-24)

(4)河川の水質保全対策

2)底質モニタリングを実施

現在定期的に、pH・総水銀・カドミウム・ヒ素・鉛・PCB(以上、必須項目)等をモニタリングを実施しています。

今後、生態系への影響も考慮した項目(溶存酸素に関連した項目、底泥の有機物の指標となる項目等)についても検討し、できるだけ早期に調査を実施します。

【説明資料】

42